

訪問介護で障がい者をサポートし、コンサルティングでも業界に寄与

株式会社 すいへいせん 訪問介護隊グループ

神奈川県横浜市緑区十日市場町 866-5 サードアドバンス 603
URL : <https://www.suiheisen-kaigo.com>

訪問介護のコンサルティングを行う『訪問介護隊』から分社化してスタートした『すいへいせん訪問介護』。2019年2月に立ち上がったばかりで、グループとして新たな体制で障がい者の訪問介護に取り組んでいる。本日はタレントの野村将希氏が訪問。山口社長にお話を伺った。



山口 竜介

山口 竜介
代表取締役

対談
interview

野村 将希
タレント

まずは、山口社長の歩みから伺います。学業修了後は製造業界に就職し、ずっと技術系の部門に携わってきました。しかしリーマン・ショック後、業界全体が厳しい状況に陥ってしまったんです。そんな中、縁あって障がい児を対象にした放課後等デイサービス運営する会社の社長と出会い、興味を持つように。それで会社に勤めながら、休日を利用してそちらでアルバイトをさせていただくようになりました。

それが、福祉業界との出会だったんですね。そうですね。子どもたちはその施設で楽しく過ごし、親御さんとの間は仕事をしたり、お子さんの世話から少し離れてリフレッシュしたりできる。そして介護事業者や職員は報酬をいただくことができる。介護は、関わる誰もが幸せになることができる仕事なんじゃないか、と感じるようになりました。私自身も子どもたちと接することが楽しくなりました。喜ばれる仕事ということに大きなやり甲斐を感じて、転職を決意。そして、介護福祉事業の会社で1年半ほど経験を積んだ後、業界経験が豊富な方と一緒に訪問介護のコンサルティングにも携わり、

訪問介護のコンサルティングを手掛ける『訪問介護隊』を立ち上げました。福祉業界に魅力を感じられたきっかけは、放課後等デイサービスの仕事だったことですが、訪問介護に移られたのは何故ですか。

色々と調べてみると、障がい者向けの訪問介護事業所が不足していることが分かりました。高齢者向けは大手の参入もあって数はどんどん増えていますが、障がい者向けは全然足りていない。それで訪問介護の分野で、少しでも皆さんのお役に立ちたいと考えたんです。そして、コンサルティングを行うためには現場をさらに知る必要があると考え、訪問介護事業所『すいへいせん訪問介護』も立ち上げました。今はまだコンサルティング事業はほとんど動いていませんが、まず『すいへいせん訪問介護』を軌道に乗せて、グループとして成長していきたいと考えています。

この業界は女性が多いですが、当社では男性も多く採用し、力仕事にも対応できる体制を整えていく考えです。力のあるヘルパーはなかなかいないので、困っている方に安心していただければと。私自身も昨年、ヘルパーの資格を取得したんです。今後は私が通っていた学校ともコラボしたいと思っています。

前向きな展望に溢れていて、これから楽しみですね。ところで、社名にはどのような意味が？



「色んな方があって、山口市の感謝の気持ちを大切にしたい。福祉業界で活躍する皆さんが安心して暮らせる社会を作っていけたら嬉しいです。」

水平線は見える範囲には限りがありますが、その向こうにもずっと続いていきます。そこから「ずっと先まで途切れることなく安心のサービスを提供する」という思いを込めました。当社の事業を通じて少しでも、障がい者の皆さんが安心して暮らせる社会を作っていけたら嬉しいです。

Commemorative Photo

